

家読100選 ご活用ください



家読って何？

「家族みんなでお家で読書」を略して「家読(うちどく)」です。読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようという試みです。生涯学習課では「家読100選」を作成しています。県HPからダウンロードできます。ぜひご活用下さい。

しなやかな心 家読100選

検索

毎月

家族みんなでお家で読書

第1日曜日(家庭の日)と第3日曜日(青少年をはぐくむ日)を、**家読デー**として、家族そろって読書をしましょう。

1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。
3. 家族で話し合って読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

うちどく.comより

ビブリオバトルやまなし2020

- 日時：2020年12月20日(日)
- 会場：山梨県立図書館
- 部門：中学生の部
高校生の部
一般の部
- 申込・お問い合わせ先：山梨県教育庁生涯学習課



*本年度は、高校生の部・中学生の部の全国大会はありません。

やま読ラリー

600枚
限定

やま読ラリー参加書店を巡り、甲州印伝のしおりをもらおう!

10/27 [火]

オリジナルしおりは、なくなり次第配布を終了いたします。詳細は書店店頭にて確認してください。



やま読イベント情報
参加書店はこちら



編集・発行 R2.10.1

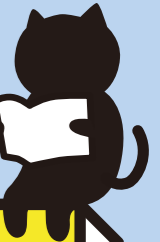


やまなし読書活動促進事業実行委員会

「やま読」は親しい人などに本を贈る活動のお手伝いをしています。

事務局：山梨県教育庁 生涯学習課

やま読 PRESS 2020



本の中にやまなしを探せ!

～やまなしの魅力を再発見～



「山梨のさりげない名作」 山梨県立図書館名誉館長 阿刀田 高

文学作品に描かれた山梨と言われれば、一やっぱり、あれですねーすなわち、御坂峠でしょう。太宰治でしょう。『富嶽百景』でしょう。昭和十三年、三十歳の太宰は自殺未遂の荒廃した精神状態からの再起を期し、御坂峠の天下茶屋で井伏鱒二のいつくしみを受け、結婚を決意。この後しばらくは穏やかな日々を

送った。すばらしい富士山に心を打たれ「富士には月見草がよく似合う」の名言を残した。『富嶽百景』は明るい太宰の特徴が現れた名作である。今、訪ねると、御坂峠はさりげない道筋だが、名作を思えば尊い。そうなんだ。まったくの話、山梨は、いつもさりげないけど、すごい。私の大好きな文学史の中で必ずしも特筆大書

されるわけではないけれど、山本周五郎や深沢七郎など、しみじみユニークな才筆も、この地の出身者なのだ。皆さん、読みましたか。



あなたの町の本屋さん、図書館の方から、山梨にゆかりのある本や、秋の読書週間を機に、ふるさと山梨の魅力を再発見してみませんか。

山梨に関係することが登場する本を紹介していただきました。



「富士の農鳥さま」



作:こばやしひろみ 絵:さかきみつお
出版社:文芸社

山梨と言えば富士山!富士山と言えば農鳥!みなさん、1年に1度だけ春になると富士山に姿を現す「農鳥」ってご存知ですか?身近にあるけど知らない富士山農鳥の秘密。みんなで一緒に探ってみよう!富士山の麓に住むお2人が描いた富士山愛のたっぷり詰まった1冊。

令和2年度子供の読書活動優秀実践団体文科大臣表彰受賞
読み聞かせボランティア:このはなさくや
代表 渡辺律子

「えがないえほん」

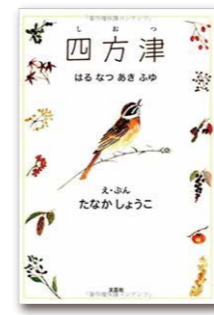


作:B.J.ノヴァク 訳:おともたけし
出版社:早川書房

絵本なのに絵がない!?なのに読んであげると子どもは大爆笑!!山梨出身、在住の友大剛さんが、県内を始めて全国全国の保育園や幼稚園を回り、実際に読み聞かせをしながら一番子供たちにウケる翻訳を試行錯誤しながら送り出したのがこの絵本。ぜひ声に出して読んで、大声で笑って、親子でのコミュニケーションを楽しんでください。

あなたの町の本屋さんから
朗月堂 内藤健太

「四方津 -はるなつあきふゆ-」



著作者:たなかしょうこ
出版社:文芸社

『四方津-はるなつあきふゆ-』の中には、私たちのふるさと「四方津」の自然がいっぱい。優しい挿絵と穏やかな文体で語られているのは、春の鳥のさえずり、夏の草花、秋の紅葉、冬の積雪……そんな季節の折々。大野貯水池や四方津駅前など、おなじみの場所も登場し、あなたも四方津の自然を探しに行きたくなるはず。

令和2年度子供の読書活動優秀実践校文科大臣表彰受賞
上野原西中学校
学校司書 小澤いづみ

「ずっと見つめていた」



作:森島いずみ 絵:しらこ
出版社:偕成社

妹のつくみは化学物質過敏症。そのため家族全員で都会から、南アルプス市に移住してきました。慣れない日々の中、奮闘する毎日です。それでも少しずつ土地に、自然に馴染んでいきます。南アルプス市在住の作者が描き出す、富士山をはじめとする山々、果樹園、甲府盆地の描写からは自然あふれる様子が十分に感じられます。

南アルプス市立図書館
司書 小澤由樹

「いえができるまで」

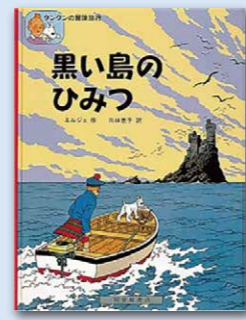


取材・構成・写真:砺波周平
出版社:ひさかたチャイルド

家の建て方を紹介した写真絵本です。取材や撮影で使われたのは、山梨のある一軒家!木材を組んで骨組みを作る大工、壁を塗る左官屋、屋根を貼る板金屋、トイレなど水道の設備を付ける水道屋、畳を作る畳屋、庭に木を植える植木屋など、大勢の職人さんが登場し、力を合わせて家を完成させるまでが描かれています。

県立図書館
司書 小林和美

「黒い島のひみつ」



作:エルジェ 訳:川口恵子
出版社:福音館書店

ベルギーの作家エルジェによるタンタンの冒険シリーズの7番目の作品。ニセ札造りのひみつを暴くためにスコットランドの孤島まで追いかけていくタンタンと名犬スノーウィ。彼らが訪れたキルトホという集落がなんとネイティブ甲州弁を話す村だった!どんな甲州弁が飛び出すのかは読んでのお楽しみ。

あなたの町の本屋さんから
柳正堂書店 青柳 力

「天下取」



著作者:村木嵐
出版社:光文社

武田、今川、北条の同盟で政略結婚させられた三人の娘たち…。彼女らをはじめとして、乱世の時代に戦や家族の間で揺れながらも、力強く生きる女たちの姿を描いた短編集です。誰もが知る信玄公の武勇や、戦国武将が駆けつけた見知らぬ地名の印象も、妻や娘など女たちの目から見ると少し印象が変わって見えてくるかもしれません。

令和2年度子供の読書活動優秀実践校文科大臣表彰受賞
県立身延高校
学校司書 渡辺香菜

「シェルパ斉藤の遊歩見聞録 だから歩く旅はやめられない」



著作者:斉藤政喜
出版社:小学館

地球をフィールドに30年以上旅する紀行作家・シェルパ斉藤さんによる歩く旅の傑作選。まずは八ヶ岳開山祭から3日間かけて八ヶ岳を縦走し、なんと北杜市の自宅までダイレクトに歩いて帰る旅が描かれる。旅先での出会いや同行者(犬)とのエピソードが満載!バックパックを背負って歩き始めれば、どこにだって行けると思わせてくれる本。

北杜市ながさか図書館
司書 社 洋子

「郷土の食材と料理 やまなしのおかず」



料理協力:山梨県食生活改善推進員連絡協議会
特別協賛:株式会社 大戸屋
出版社:開港舎

地元産の食材を使った家庭料理から郷土の伝統料理、さらにはスイーツまで。身近な料理を豊富な写真とイラストで紹介しています。季節ごとや行事に絡めての食の紹介や、食材紀行では作り手の思いに触れることができ、ふるさと山梨をぞんぶんに味わえるレシピ集です。地産地消の考えを子どもたちにも伝えていきたいと改めて思いました。

令和2年度子供の読書活動優秀実践校文科大臣表彰受賞
都留市立禾生第二小学校
学校司書 小俣恵子

「mono①」



著作者:あろ
出版社:芳文社

シネフォト部(写真部+映研)の女子高生3人と、「実際そこに行きたくなる漫画」を描こうと考えた漫画家・春乃。あの『ゆるキャン△』のあろが描く今週末の楽しみ方4コマです。舞鶴城公園や勝沼ワイナリー、清里高原、『ゆるキャン△』の聖地巡礼ネタも!独特な世界観で山梨の魅力を再発見です。

あなたの町の本屋さんから
リプロプラスよむよむ 前田晋司

「京都府警あやかし課の事件簿」



著作者:天花寺さやか
出版社:PHP研究所

舞台は京都。表の顔は喫茶店、裏の顔は人知れず「あやかし」を取り締まる京都府警「あやかし課」。軽快なテンポで進むファンタジー小説ですが、著者は生粋の京都人。あれ、山梨は?と思うでしょ?あれ、メイン登場人物の一人が京都弁じゃない!?その人物こそが何と山梨県人なのです!(著者さんに確認済み!)

あなたの町の本屋さんから
天真堂書店 天谷要一

「魔法使いの弟子たち」

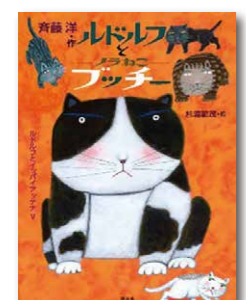


著作者:井上夢人
出版社:講談社

山梨県内の大学病院で院内感染発生という、今ちょっと洒落にならない書き出しから始まります。山梨県発の感染症の患者さんが超能力を発現したことから……。ウイルスは生命の進化にも関わっています。その進化のきっかけが山梨?「釜無川の決闘」など県内地名があちこち出てきてニヤリとします。今読んでほしいSFです。

都留文科大学
准教授 日向良和

「ルドルフとノラねこブッチー」



作:斉藤洋 絵:杉浦範茂
出版社:講談社

黒猫「ルドルフ」と、博識なボス猫「イッパイアッテナ」のシリーズ第5弾。裏表紙には、信玄公像が描かれています。今回ルドルフはノラねこブッチーと、ある人を訪ねて山梨にやってきます。甲府駅から武田通りの地図があり、山梨県立図書館や武田神社も出てきます。本を読んだ後、2匹が歩いた道を実際に歩いてみませんか?

令和2年度子供の読書活動優秀実践図書館文科大臣表彰受賞
甲斐市立敷島図書館
司書 市岡香菜子

「北斎の絵本 富士山みえた~!!」



著作者:結城昌子
出版社:小学館

「富嶽三十六景」を知っていますか?葛飾北斎が富士山をいろんな場所から描いた絵のことです。中でも、荒れ狂う波の後ろにど〜んと構えた富士山の絵は印象的!富士山と共に描かれた当時の人々の暮らしがわかるのも特徴です。北斎が85歳の時に描いたという龍が、わかりやすい言葉とかわい文字で絵の紹介をしてくれます。

あなたの町の本屋さんから
卓示書店 渡辺小百合

「健康で文化的な最低限度の生活」

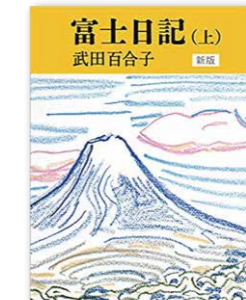


著作者:斉藤社馬
出版社:KADOKAWA

本を好み文章を書くことを趣味とする、山梨県出身の人気声優によるエッセイ。海なし県生まれなのにまぐろが大好きなところや、東京に憧れた学生時代など、綴られているエピソードの所々で山梨らしさを見ることが出来ます。また、本書の中の写真の多くは山梨で撮られているので、撮影場所を推察するのも楽しい一冊です。

山梨市立図書館
司書 小林ちひろ

「富士日記」



著作者:武田百合子
出版社:中公文庫

13年間の富士山麓での日記。献立や買い物などの日々の様子、富士山の美しさや四季の移り変わり、時折、出てくる山梨関連の話題もおもしろい。好奇心旺盛に、梓にとらわれない著者の自由奔放さに魅了される。くつろぎながらどのページからでも読むことができ、読者の日々の生活への眼差しが変わってくる本。

あなたの町の本屋さんから
春光堂書店 宮川大輔